

# ほくぶNNだより

## あおう なかぞねほくぶ 美里町青生地区及び中淬北部地区にて トウモロコシが収穫されました

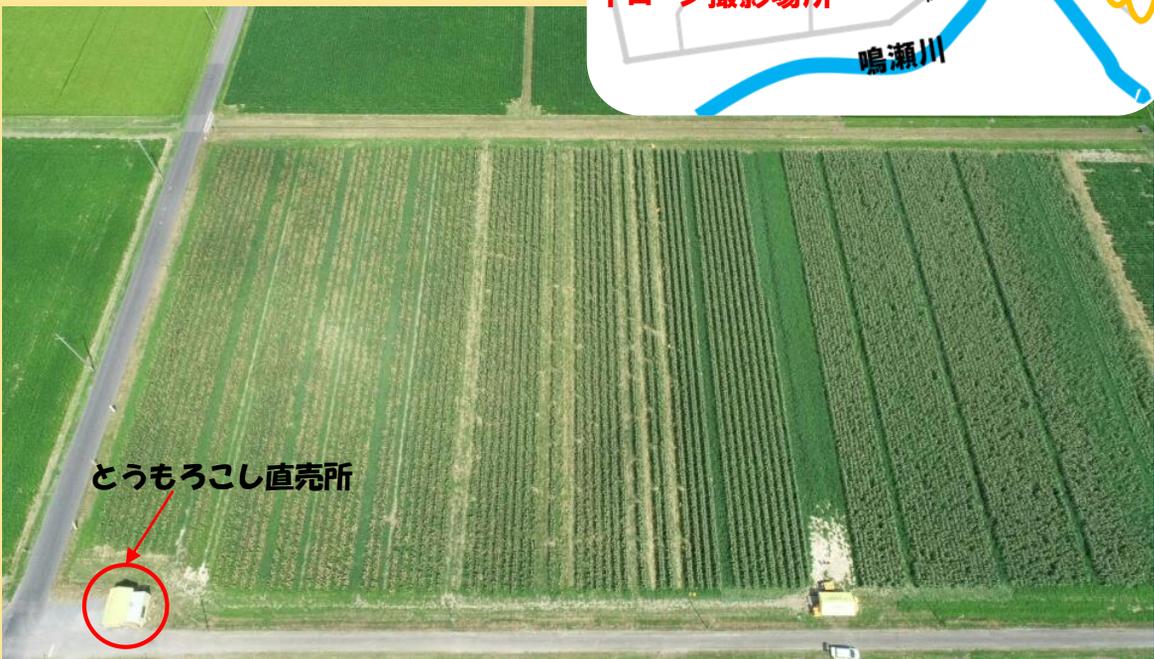
宮城県がほ場整備事業を実施した、美里町の青生地区及び中淬北部地区ではそれぞれ「(農法)みらいす青生」及び「(農法)タカギ農産」、「(農法)中淬ファーム育み」がトウモロコシの栽培を行っています。



青生地区では、ほ場整備事業でFOEAS(フォアス)という地下水位制御システムを導入しています。これにより、トウモロコシなどの高収益作物を安定的に栽培しています。

みらいす青生では、「ゴールドラッシュ」という品種のトウモロコシを約2.3haで栽培しています。収穫したトウモロコシは青生地区内にある「とうもろこし直売所」のみで販売しており、取材した日も朝からたくさんのお客さんで賑わっていました。

今シーズンのトウモロコシの販売は8月17日で終了しています。農作業の様子や農産物の販売情報は、みらいす青生の公式インスタグラムで確認できます。



◀ 青生地区のトウモロコシ畑(令和6年8月)



## 中埜北部地区

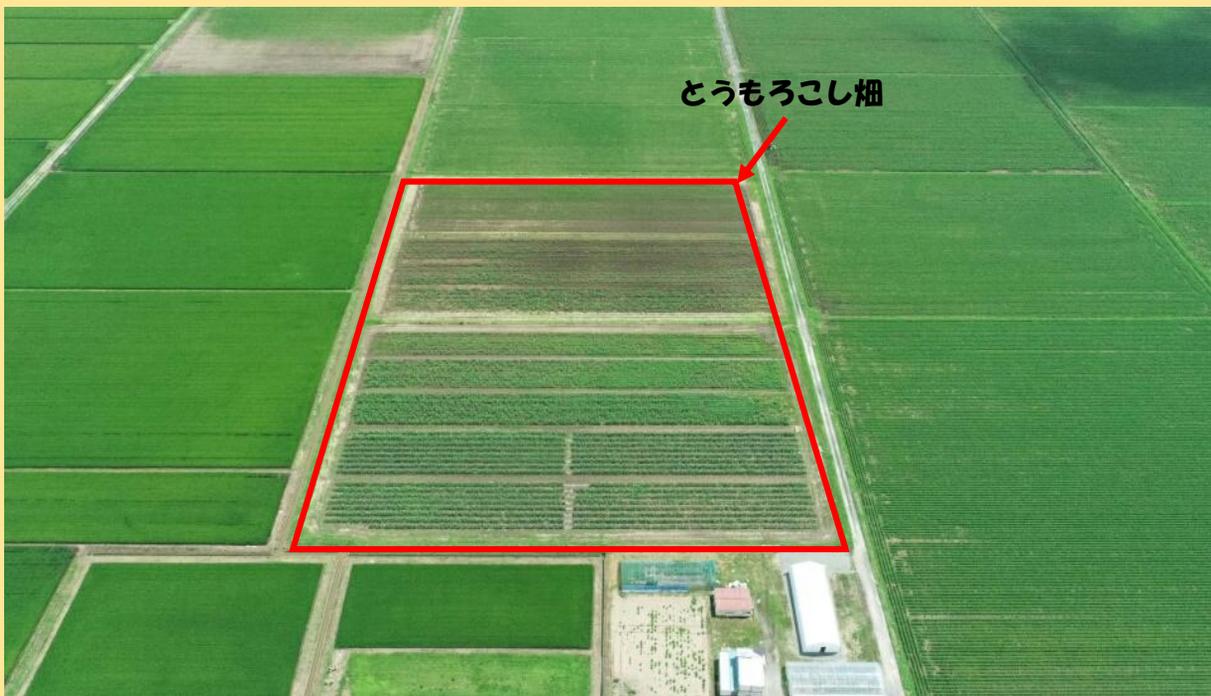
中埜北部地区では(農法)タカギ農産と(農法)中埜ファーム育みがトウモロコシを約2.2ha栽培しています。収穫したトウモロコシは中埜ファーム育みの敷地内にある「とうもろこし直売所」で販売しています。こちらも取材している間に客足が途絶えることなく、とても賑わっていました。

## 位置図



▲直売所にあるのぼり

こちらでは糖度が高く、生でも食べられる「おおもの」という品種を3年前から栽培しています。今シーズンは8月30日に販売が終了しました。農産物の販売情報などはタカギ農産の公式インスタグラムで確認できます。



▲中埜北部地区(令和6年8月)

# 令和6年度小牛田農林高等学校 農業農村整備事業学習会を開催しました

令和6年7月9日に、小牛田農林高等学校農業技術科農業土木コースの1学年を対象とした農業農村整備事業学習会を開催しました。この学習会は、北部地方振興事務所農業農村整備部が平成18年度から毎年開催しており、今年で19年目です。農業土木を学ぶ高校生に対して、農業水利施設の見学を通し、その必要性について理解してもらうため、体験的な学習を実施しています。今年度は、二ツ石ダム及び上川原頭首工の見学や世界農業遺産についての講義を行いました。

## 二ツ石ダム

宮城県大崎地方ダム総合事務所の職員から、説明を受けました。



◀ 管理棟での説明



◀ 監査廊の見学

ダムの種類や構造について説明を受けたのち、仕事の内容についても話を聞く場面があり、生徒の皆さんは熱心に話を聞いていました。普段入ることのできない監査廊の見学では、「涼しい」や「出入り口まで遠い」など生徒の様々な反応がありました。

## 色麻町農業伝習館

大崎市産業経済部農政企画課世界農業遺産未来戦略室の職員から、「世界農業遺産」についての講義を受けました。



◀ 講義の様子

自分たちが住む地域における歴史や、それを守るために現在も行われている取り組みなどを知ることができました。

## 上川原頭首工

上川原頭首工にて、管理者である鳴瀬川沿岸土地改良区の職員から説明を行いました。



▼上川原頭首工の見学



土地改良区とはどのような仕事をしているのか、また、頭首工にはどのような役割があるのかについて話を聞くことができました。

## 学習会後の アンケートでは…

ダムには何回も  
行ったことがあるが  
監査廊は初めてで  
とても良い経験に  
なった

ダムがどのように利用されているのか  
頭首工の役割について知ることができた



世界農業遺産  
の歴史などを  
詳しく知る  
ことができ  
さらに  
理解を深めて  
いきたい

今回の学習会で土木関係の仕事に興味を感じ  
将来の仕事の選択肢として入れようと  
考えている

**という声がありました！**

本学習会が、生徒の皆さんにとって進路選択の一助となれば幸いです。

# 小野田東部地区及び月崎・清水地区の 安全祈願祭が開催されました

7月29日及び8月26日に、加美町にて、農業競争力強化農地整備事業小野田東部地区及び月崎・清水地区の安全祈願祭が、加美郡西部土地改良区及び色麻町土地改良区それぞれの主催で開催されました。当日は、県議会議員、加美町、色麻町、関係土地改良区や地元関係者などが出席しました。これは、工事が今年度から始まることに伴い、工事の安全と早期完成を祈念して行われたものです。

## 小野田東部地区



## 月崎・清水地区



両地区は、令和4年度に事業採択され、今年度より区画整理工事に着手しました。本事業により、農地の大区画化や高収益作物の導入に向けた水田の汎用化など、競争力ある農業の実現に向け、今後も農地の整備を推進していきます。

# なびれ 名鱈地区の工事が完了しました

平成22年に採択され、平成24年から工事を開始した名鱈地区が令和6年7月をもって全ての工事が完了しました。

本地区は、宮城県遠田郡涌谷町の南東部に位置し、JR石巻線と花勝山を挟み、北側を国道108号線と江合川、南側に出来川、西側に青木川に囲まれた地域です。

## 事業実施前

- ・区画形状が10aと小さい
- ・道幅が狭小で大型機械の通行に支障がある
- ・用排水路が土水路のため、維持管理に苦慮
- ・作業効率が悪いことから、特に個別担い手の規模拡大の障害になっている

本事業によりほ場を1ha程度に拡大し農道及び用排水路の整備を行いました

## 事業実施後

農地の汎用化や水管理を効率的に行うことが可能となったことで、農地の集積も進み、営農組合による大規模営農が可能となりました。

現在は、営農組合の方々が水稲や大豆を作付けし、活気あふれる営農が行われています。



▲名鱈地区(令和6年6月)

宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部  
〒989-6117 宮城県大崎市古川旭4丁目1番1号  
(宮城県大崎合同庁舎4階)

TEL：0229-91-0724

FAX：0229-23-5014

ホームページ：< <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/> >

大崎地域観光PR Facebook「アイラブオオサキ」

< <https://m.facebook.com/loveosaki?rdr> >

Instagram「東北のへそ」

< [https://www.instagram.com/tohoku\\_hesostagram/](https://www.instagram.com/tohoku_hesostagram/) >

Instagram「よしきたみやぎ」

< <https://www.instagram.com/yoshikitamiyagi/> >

